

情報活用型授業をつくるヒント集 Ver. 2.5

これらの工夫点をすべていかす必要はありません。

	項目	収集	編集	発信
導 入	ア. 意欲・関心を高める			
	ア-1 調べてみたくなる現象や出来事を見て、課題意識を持つ	○		
	ア-2 作品例やその反響などを伝えて、やってみたい気持ちを持つ			○
	イ. 目標をつかむ			
	イ-1 思考・判断・表現力に関する学習課題を設定する	○	○	○
	イ-2 伝える相手を明確にした学習課題を設定する			○
展 開	ウ. 既習事項や経験を確認する			
	ウ-1 課題解決に必要な既習の知識や技能、これまでの学習経過を確認する	○	○	○
	ウ-2 学校や生活での経験を思い出すような映像や資料を見る	○		
	エ. 取り扱う情報			
	エ-1 映像、新聞、統計資料、インタビューなど、読み解き甲斐のある情報を使う	○	○	
	エ-2 視点や立場が異なる情報や、グループごとに異なる情報を用意する	○	○	
エ-3 自分たちや他のグループが収集、整理、表現した情報を対象化する		○	○	
ま と め	オ. 情報の扱い方の指導			
	オ-1 情報を収集、整理、表現する目的、観点、判断基準をつかむ	○	○	○
	オ-2 情報を収集、整理、表現する際の手段を選んだり、特性を比較する	○	○	○
	オ-3 情報を収集、整理、表現する際にワークシートやノートの型を活用する	○	○	○
	カ. 情報活用を伴った学習活動			
	カ-1 情報手段の特性や留意点を意識して情報を収集する	○		
カ-2 カードや付せん、シンキングツール、表やグラフを用いて情報を整理する	○	○	○	
カ-3 受け手の状況や情報モラルを意識して伝え方を工夫する			○	
ま と め	キ. 情報活用を深める・高め合う			
	キ-1 見つけた情報を報告しあい、課題解決に役立つかどうか見極める	○		
	キ-2 多様な情報や意見を比較・調整したり、つなげて思考して課題を解決する		○	
	キ-3 情報の伝わり方や情報の受け手を意識して、構成や表現を検討する			○
	ク. 自己・相互評価する・他者に伝える			
	ク-1 自己評価・相互評価を行い、情報の活用プロセスを振り返る	○	○	○
ク-2 他学年・保護者など必然性のある相手に伝え、伝わったかどうか確かめる			○	
ま と め	ケ. クラスでまとめる、発展課題を見つける			
	ケ-1 クラスで話し合い、分かったことや解決策の共通理解を図る	○	○	○
	ケ-2 次の単元や家庭学習につながるような問題意識をもつ	○	○	○